

高野新聞

Vol.53

発行：高野たけし事務局
〒249-0005
逗子市桜山7-3-3 A-201
046-871-7368



高野 たけし
37歳

逗子市議会議員(2期)
中央大学大学院修士課程修了

高野たけしの議員活動報告 ～ これからの課題 Part 2 ～

■E-mail takano_zushi@yahoo.co.jp
■FAX 046-871-7368
ご意見・ご要望などありましたら、E-mail、FAXでお送りください。

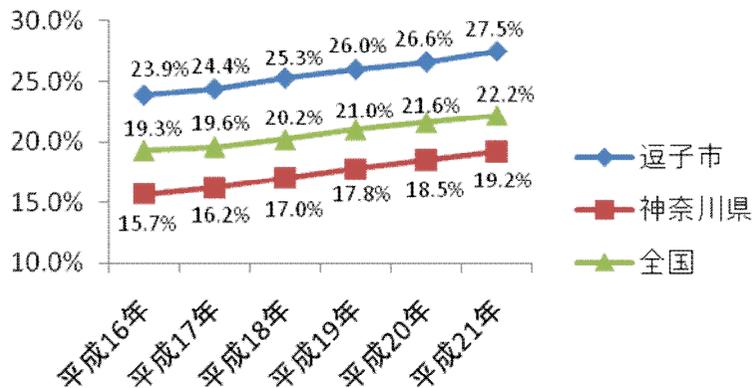
今月号では、「福祉」と「行財政改革」における本市の課題と、高野たけしの今後の取り組みの一部を掲載させていただきます。

地域に即した福祉政策

逗子市の高齢化率は27.5%となっており、神奈川県平均、全国平均を大きく上回っている現状にあります。(下図参照)また、出生数においては、平成14年の478人から低下傾向にあり、平成20年は392人でした。

こうした現状を鑑みた場合、少子高齢化対策は逗子市が取り組むべき喫緊の課題の一つと言えます。

《 高齢化率の推移 》



※逗子市、神奈川県の数値においては、神奈川県年齢別人口統計調査結果報告に基づき算出。全国の数値においては、総務省統計局の人口推計より算出。

政治資金の残り あと 11,984 円

(1/1～1/31の内訳)

収入…給与から	30,000円
支出…新聞印刷	6,300円
名刺作成	5,943円
写真撮影	6,400円
ポスター掲示用備品	2,056円

※今後も政治資金のガラス張りは必ず続けていきます。

◆子育て中のお母さんをサポート

子育て中のお母さんが時間的余裕を作ることができるよう、そのサポート策の一環として、一定時間お子さんを預けることができる保育ステーションの設置を求めています。

また、全学区への学童保育施設の充実を図り、働くお母さんのサポート策にも努めていきたいと考えています。

◆小児医療費助成制度の拡充

病院にかかりやすい乳幼児を対象とした小児医療助成制度においては、近隣自治体との格差を解消すべく、所得制限の撤廃と合わせて、対象年齢の引き上げについてもその実現に向け尽力していきます。

※逗子市の現状…0歳児は所得制限なしで無料。

1歳～小学校就学前までは所得制限ありで無料。

◆育児サークルを応援

地域で活動している「親子遊び」や「ホットスペース」のサポート体制を強化し、お母さんたちが子育てについて相談できる場、親子で遊べる場の充実に努めていきます。

◆健康増進策の内容を充実

高齢者の方々を対象に行っている体操教室、水中運動教室の開催回数の拡大に加え、内容の充実も図って考えています。

◆不足している特別養護老人ホームの誘致を推進

本市においては、特別養護老人ホームの増設も課題の一つとして挙げられます。(平成21年9月1日現在、入所待機市民数は307人)増設にあたっては、入所に際しての市民優遇策を導入するなど、市民が有効に市内施設を利用できる施策の推進も合わせて行っていく必要があると考えています。

時流に合わせた行財政改革

◆逗子市の財政状況は？

現在の地方自治体の財政状況は非常に厳しいと言われておりますが、それは逗子市においても例外ではありません。財政の弾力性を示す指標である経常収支比率は99.0%に達していることから(下図参照)、財政の硬直化が進んでいることがわかります。

◀ 財務比率の推移 ▶

	実質収支比率	経常収支比率	公債費比率	財政力指数
平成20年度	5.3%	99.0%	10.4%	0.960
平成19年度	7.6%	96.1%	9.9%	0.971
平成18年度	7.3%	94.0%	10.1%	0.974

- ・**実質収支比率**: 標準財政規模に対する割合。
一般的には3~5%が望ましいとされている。
- ・**経常収支比率**: 経常一般財源に対する経常的経費の割合。
一般的には70~80%が望ましいとされている。
- ・**公債費比率**: 経常一般財源に占める公債費の一般財源所要額の比率。
一般的には10%以内が望ましいとされている。
- ・**財政力指数**: 財政上の能力を示す指数。
この指数が1を超えるほど財源に余裕がある。

◆事業の取捨選択を行う制度構築が課題

本市においては、サービスの受け手である市民や、学識経験者など、第三者の目線を取り入れた事業仕分け制度の導入が課題として挙げられます。

厳しい財政状況にあるからこそ、事業の取捨選択を行った上で、必要な事業であればいくらの予算を充てることで住民サービスを維持することができるのか、住民ニーズに応えることができるのか、しっかりと見極めていくことが大切であると考えています。

◆民間委託を有効活用

事業の取捨選択と同時に進むべきは、民間委託の有効活用ではないでしょうか。

民間のノウハウ、人材、資本を活用した方が、市が行うより良いサービスを市民の方々へ提供できるのを見極めた上で、民間を活用した方が良い事業に関しては積極的に委託していくべきと考えています。

どーなっているの？

市民の皆様からのご意見・ご要望にお答するコーナーです。

池田通りの工事に伴い、歩道に大きな段差があり通行に支障をきたすこともあるので、改善を図っていただけませんか？

現在、池田通りでは電柱の地中化工事を行っています。通行量の多い時間帯には作業を行うことができないので、夜間作業を行い、昼間は仮舗装の状態となっています。仮舗装とはいえ、段差もあり通行に支障をきたす状態であることから、逗子市の環境都市整備部を通じて道路管理者である神奈川県に対し、工事中の安全性はもとより、工事時間外の歩道状況を改善して頂きたい旨、申し入れをいたしました。



沼間3丁目にある花の森公園内の通路に急勾配の箇所があり大変危険です。安全策を講じていただけませんか？

市民の方よりお便りを頂き、早速現地を見に行ってみました。当該地はけっこうな勾配があるため、足元の悪い日などは躓いてしまうなどの危険も感じました。

そこで、公園を管理している緑政課に対し、手すりを取り付ける等、安全策を講じていただきたい旨、要望したところです。

日頃、皆さんの生活の中で危ないと感じる場所や改善が必要であると思う場所などがあればお知らせいただきたいと思います。

高野たけしは、安心・安全のまちづくりに向け、今後も活動していきます。

